

5-1

コンマがあるなしでどう違うのか？

コンマ付きの関係詞についての誤解

皆さんご存知のように、関係詞の前にコンマ (,) を置く用法があります。まず、構文上の注意として、次の基本事項を確認してください。

- ① コンマ + that (, that) は使えない
- ② 目的格でも関係詞の省略は不可

• 「彼は彼女にメールを送ったが、彼女は読みもしないで削除した」

- (○) He sent her an e-mail, **which** she deleted unread.
- (×) He sent her an e-mail, **that** she deleted unread.
- (×) He sent her an e-mail, **she** deleted unread.
- (?) He sent her an e-mail **which** she deleted unread.
(彼は彼女が読みもしないで削除したメールを送った)

このような構文上の注意点は、比較的多くの方が、理解し、あまり誤解のないところと思われます。ただし、意味的な違いについてはあまり注目されていない感じがするのですが、どうでしょう？

—[1] 息子は何人？—

コンマつき関係詞の訳出にあたっては、学校文法で、

- ① コンマがない場合 ⇨ 先行詞にかけて「…する名詞」と訳す
- ② コンマつきの場合 ⇨ 「名詞、それは…なのだが」と切って訳す。

と教わった人が多いと思います。

ですが、はたしてこの用法は、単に日本語に訳出するさいの「先行詞にか

ける」「切って訳す」といった次元の話ですむことでしょうか？

例えば、次の文の場合、コンマがあるなしで、どこがどう違うのか考えてみましょう。

- ① He has two sons **who** are doctors.
(彼には医者をしている二人の息子がいる)
⇨ 他にも息子がいる可能性
- ② He has two sons, **who** are doctors.
⇒ He has two sons, and they are doctors.
(彼には息子が2人いて、2人とも医者だ)
⇨ 息子は2人だけ

①の場合は、「医者をしている息子が2人」いると述べており、「教師」でも「会社員」でもなく、「医者であること」によって息子の意味が特定化されています。

つまり、「医者である息子」と「そうでない息子（教師をしている息子、会社員の息子）」などが存在する可能性があり、いわば **who** 以下によって「**区別化**」がなされているわけです。

一方、②の場合は、まず「彼の息子は2人だけ」であり、「**特定化**」されています。その上で、その2人が両方とも医者であることを**追加情報**として述べています。

つまり、コンマを用いない用法（制限用法）に比べ、コンマを用いる場合、先行詞となる名詞はすでに特定化されたもの（裏を返すと、それしか存在しないもの）がくるといえます。